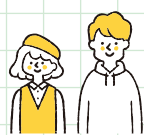


皆さんの「声」を聞かせてください！

中山町出身の大学生の皆さんの話

今回は、中山町出身で現在は大学に進学している方々（令和6年度時点）にお話を伺いました。全員が新しい中山中学校で過ごしてきた世代であり、新校舎の設備が充実していたことから「中学校に通うのが楽しかった！」という嬉しい声が聞かれました。一方で、大学生になり、たくさんの出会いをとおして中山町を俯瞰して見られるようになったからこそ、気になる点も多々出てきたようでした。



若者から見ても、中山町は良い町！

スポーツ施設が
とても充実している！

小中学校は、
今思えば少人数だったけど、
みんなの顔が
分かって良かった

中学校に通うのが
楽しかった！

中央公民館は
ウェルカムな雰囲気
で過ごしやすかった

中学校の時の
防災教育は
今でもよく覚えている

進学のために町を離れたけど、
「静かな環境」の
ありがたみを実感！

でも、町の魅力を積極的にアピールしないのは何故？

「良い町だ」という自負はあるけれど、町外の人に分かりやすく伝えられる魅力がない。いろんな世代が共通して「これ」と言えるような魅力があればいいのに、と思う。

車が運転できるようになったので、最近は
西川町のサウナに行くようになった。魅力
的なので、遠くても行きたくなる。

柏倉家とか、SNS で映えそうところなのに、全然
発信しようとしていない。ああいうところが好きな若
者もいるので、とてももったいないと思う。



好きな町だけど、
住み続けるのは
難しい...

職業が限られる

自分の好きなことで
自立しようとする、
中山町では難しい

中山町だと、
自営業以外、
厳しいよね？

「大人が町の外で働いている」
という状況が、
自分たちの子どものころから
ずっと変わっていない



いつか「戻る」時に、どんな町だったらいいだろう？

これまで過ごしてきた中で
若者として
改善してほしいと
思うところもあった

友達同士で
出かける場所がない

車の運転ができないから、
やっぱり交通アクセスが
悪いと感じてしまう

お祭りとか、
みんなが集まる機会が
中山町は少ないと思う

マルシェとか、
屋台が出るような
イベントをやしてほしい

勉強できる場所の選択肢が
町の中にもっと欲しかった

子どもにとって、
住んでる場所によって
使える公共施設は
だいぶ変わってくる

自分たちだけでなく、
町外の人にも「ここで子どもを育てたい」と思えるようになるといいなあ！



1

良いところをアピールしないのは何故？

「コンパクトなところが良い」「本物の自然が近くにある」「スポーツ施設が充実している」等、若者の目線からも「中山町の良さ」がたくさん語られました。そして、不満として挙げられたのは「良いところをなぜかアピールしない」という点でした。たとえば、柏倉家のイベントは「古民家に興味のある若い世代はいるはずなのに、その層に届いていない」とし、SNS による広報

を強化する声が上がりました。

また、「公共施設やイベントが平凡で、町外の人『わざわざ行こう』という気持ちにならないのではないか」という意見も出ました。「近くのゆらよりも、西川町のサウナに行く」という若者もあり、魅力の「創出」と「発信」がいずれも不足しているという指摘がありました。

2

大人になって自立するには、中山町に住めない

中山町には高校がありません。したがって、高校進学を町外に求めなければならない若者たちにとって、「大学進学のタイミングで町を出る」「就職のタイミングで町を出る」という選択は当たり前であり、「仕方のないこと」と割り切っているようでした。「自分の好きなことをしようとすると、中山町では難しい」というのは、就職する段階になるといよいよ顕著になるよう

で、中山町の良さは認めつつも、それは「職業を限定してまでも、中山町に住みたい」ということにはならないようです。若者たちにとって、子どものころから周りの大人たちが「町の外で働いている」という状況は変わらずにあり、気持ちの面でも「大人になったら、町を出る」ことに対する抵抗がないように感じられました。

3

若者が望んだことが実現できるように

「みんなが集まる機会が中山町にはない」ということで、「屋台が並ぶようなイベントがあれば、世代を問わずに町民が集まるようになるのでは」というアイデアが出されました。商業施設は町外に充実している分、町内には「町民がしっかり参加して、楽しめるイベント」を望んでいるようでした。

また、中高生時代を振り返り、町内において学習場所の選択肢が限られているため、「せっか

く学習意欲があっても、それを満たす場が町内にはない」という切実な声も上がりました。「自分たちだけでなく、町外の人『ここで子どもを育てたい』と思えるようになるといい」という意見もあり、子ども世代に向けた取り組みとして、現在あるソフト面（医療費や給食費の支援等）だけではなく、ハード面の整備（学習環境や居場所の充実）を望む声が上がりました。

公共施設再配置計画については、その必要性が「第 6 次中山町総合発展計画」にて説明されています。以下 URL または、右記コードよりご確認ください。

◎中山町「第 6 次中山町総合発展計画を策定しました」

<https://www.town.nakayama.yamagata.jp/soshiki/seisaku/machidukurisuishin/214.html>



【主催】中山町総務広報課防災安全対策室（中山町大字長崎 120 番地／電話：023-662-4899）

【制作】東北芸術工科大学デザイン工学部企画構想学科 田澤ゼミ

〈2025 年 4 月発行〉